

3) 「公共交通を中心とした基地跡地まちづくり基本計画検討調査」(平成22年度 沖縄県)の概要

① 調査の目的

- ・ 跡地利用を含めた中南部都市圏の長期的な発展方向を視野に、低炭素社会の実現、観光・リゾート産業等の振興、安全・安心な社会の形成を先導する公共交通システムに着目し、基地跡地及び周辺市街地を含めた公共交通を中心としたまちづくり計画の作成に向けた検討を行ない、今後の基礎資料として活用することを目的。

② 調査成果の概要

- ・ 公共交通を中心とした基地跡地まちづくりとして、普天間中央駅を中心に都市機能を集約した拠点整備を行うとともに、公共交通沿線に生活利便施設の立地や高度な土地利用を促進し、公共交通指向型まちづくりの方向性を検討

<土地利用>

- ―土地利用構想案(全体計画中間とりまとめ素案、H22.3)を継承
- ―既成市街地との連携による土地利用配置の再編と開発密度の向上
- ―大量輸送機関による集客効率を踏まえた都市機能整備
- ―環境配慮型都市づくりの推進
- ―歴史資源の復活と活用

<交通基盤>

- ―普天間中央駅を核とした公共交通体系を導入し、交通サービスの一体化を強化
- ―交通モード間のシームレス化を担う交通結節機能、運賃体系などハード・ソフト両面の強化
- ―駅を中心とした放射環状型の道路体系の構築
- ―サイクルシティの構築
- ―跡地外縁フリンジ駐車場、駅隣接のパーク＆ライド駐車場整備ほか駐車需要管理施策の実施
- ・ 普天間基地跡地のまちづくり構想の基本となるコンセプトとして、「美しい丘の再生 ―スマート・ヒル構想―」を提案
- ・ 普天間基地跡地に導入する都市機能は、「跡地利用計画方針調査」に示されている「振興拠点ゾーン、都市拠点ゾーン、地域産業ゾーン、居住ゾーン」の4つのゾーン構成に加え、「交通結節機能」及び「先進的エコ機能」の導入を提案

図 I-9 まちづくりのコンセプト

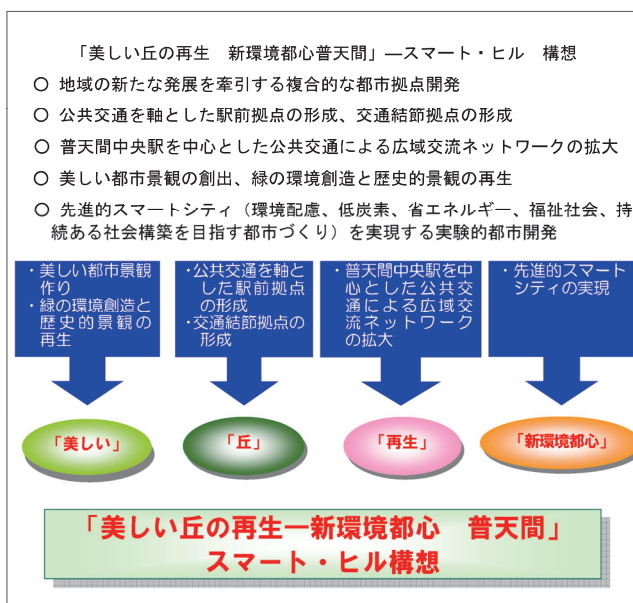
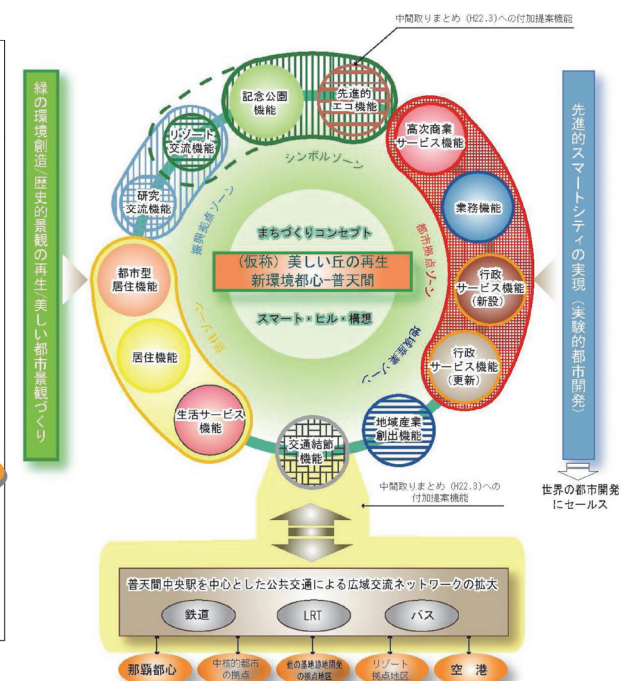
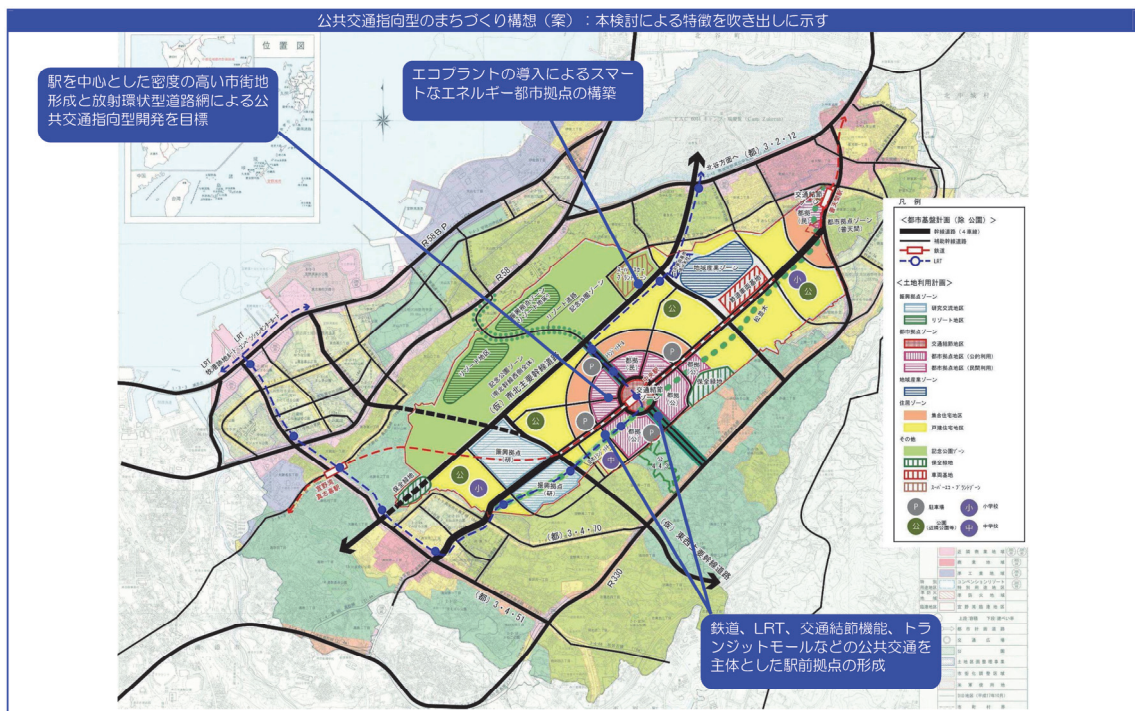


図 I-10 普天間基地跡地に導入する都市機能の構成

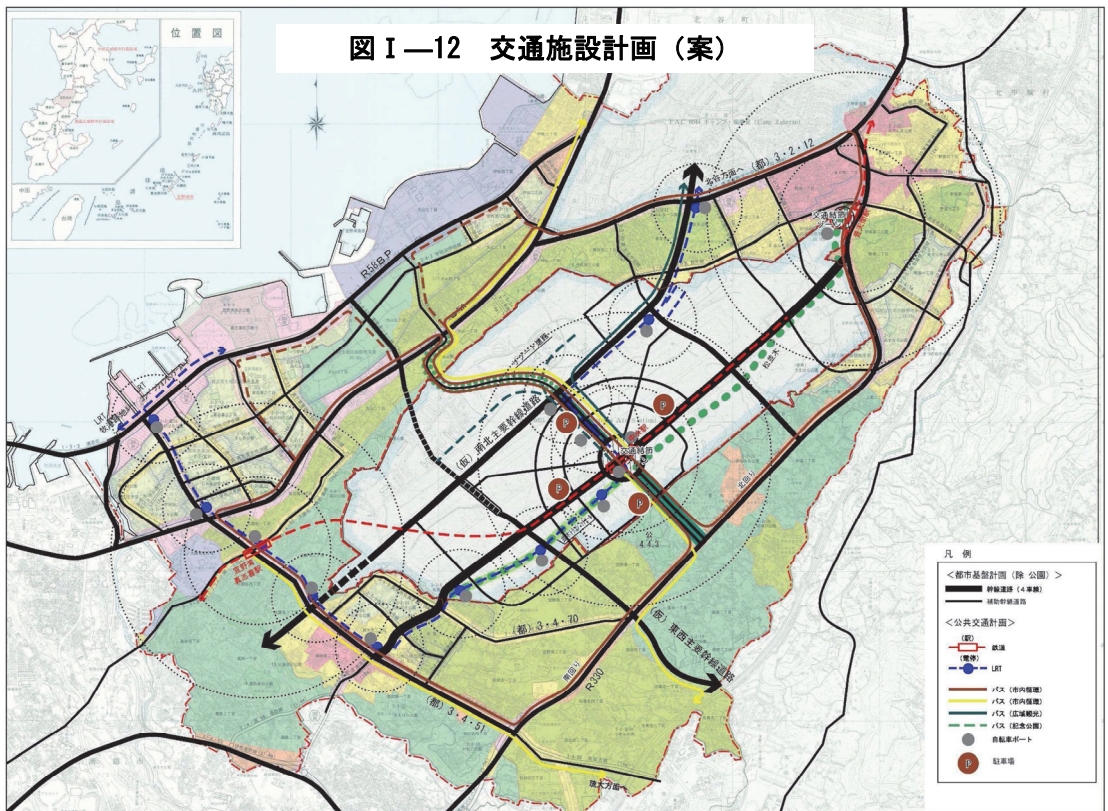


- ・ まちづくり構想として、公共交通指向型のまちづくり構想を策定し、これを基に基地跡地における交通施設の基本的な整備方針を設定。
 - － 普天間中央駅を交通結節拠点に、公共交通サービスの体系的な導入
 - － フィーダー交通サービスとして、LRT の導入、将来的には他の基地跡地地区などへのサービス圏域の拡大
 - － バス交通サービスの拠点形成。市内循環バス、普天間中央駅を起終点とする地域支援バス、域内コミュニティバスのネットワーク拠点。
 - － 自動車利用から鉄道への転換を誘導するパーク&ライド用駐車場整備
 - － 歩いて暮らせるまちづくりを実現するサイクルポートの導入
 - － 歩車共存型の並松街道の復元と歴史的町並み・景観形成
 - － 幹線道路体系の一部再編成（放射環状型道路網の導入と東西方向幹線道路の集約化）

図 I—11 普天間基地跡地の公共交通指向型のまちづくり構想（案）



- ・ 整備方針に基づき交通施設計画を策定
 - － 鉄道は（仮）南北主要幹線道路と国道 330 号の中間部に配置。鉄道駅は基地跡地の中央部（普天間中央駅）、普天間交差点（普天間駅）の 2 箇所に設置。
 - － 道路網は、広域交通の骨格道路を（仮）南北主要幹線道路と国道 330 号に位置づけ、この両道路を軸として東西方向の幹線道路を配置するラダーパターン
 - － 3 本の東西方向の幹線道路のうち中央部の路線は、国道 330 号と国道 58 号を結ぶ幹線道路としてではなく、普天間新都心地区への導入道路であるシンボル道路として整備。（仮）南北幹線道路西側は、幹線道路として補助幹線道路と位置づけ
 - － 東西の 2 本の幹線道路に挟まれた区域の道路網は、公共交通が利用しやすい放射環状型の道路構成に変更
 - － フィーダー交通の軸として LRT を導入し、普天間中央駅から北谷方面に向かう北ルートと、同駅から並松街道内を南に走り、都市計画道路 3・4・51 号を經由してコンベンションセンター、あるいは今後開発が予定される牧港跡地地区に向かう南ルートを想定
 - － 並松街道は、地域の歴史的景観として復元を目指す。配置は旧街道とは若干東側による位置とし、普天間駅から基地跡地を南北に貫くシンボリックな道路として計画
 - － 普天間駅から普天間中央駅までの区間は、幅員 10m の歩車共存道路として松並木を両側に植栽した並木道。普天間中央駅から南側は、中央部に LRT を導入した幅員 20m の歩車共存道路とし、LRT 軌道に沿って松並木を植栽する構成



- ・ 普天間基地跡地のまちづくり基本構想の検討として、基地跡地全体の公共交通指向型のまちづくり構想を基に、普天間中央駅を中心とする約 200ha の区域を対象に、「まちづくり基本構想」を検討。

図 I—13 普天間中央駅を中心とした区域のまちづくり基本構想図 (案)

